

(様式3)

事業所名 グループホームサン・オアシス

目標達成計画

作成日: 令和 4年 11月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|---------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 48 | 現在、常に安全の見守りが必要な利用者に加え、食事・排泄・入浴支援に多くの時間を必要とする利用者が増えている。職員は十分な休憩をすることなく、ケアと記録に追われている。利用者個々への関わりに偏りが生じていることや、日常的にレクレーション活動を持つことが出来ないと感じている。 | ①職員は業務の見直しに向けた意見を提案していく。 | ○業務内容の簡素化について毎月のスタッフ会議において意見を出し合う。 | 12ヶ月 |
| | | | ②見守りの必要な利用者の安全を図りながら、他利用者個々への関わりが充実する | ○業務の改善に向けた意見を基に実施し、結果をまとめていく。 | 12～24ヶ月 |
| | | | ③ケア記録等にかかるタブレットへの入力時間を短縮し、職員の休憩時間が確保できる。 | ○個々の利用者に必要なケアを具体的で明確なものになるようカンファレンスができる。 ○ケア記録の内容を見直し、よく使う言葉や文などの定型文を充実させる。 | 6ヶ月 |
| 2 | | | | | 月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |